

最先端技術紹介(農業研究センター作物関係、園芸関係)

受講料
無料

ステップアップをしたい方向け

オンライン併用

開催日	令和8年8月7日(金)
開催時間	午前10時～午前12時、午後1時～午後4時40分
会場	この講座は、オンライン配信及び会場参加です。
使用するアプリ	Webex
連絡先	TEL:096-248-6600(農業大学校研修部直通) ※当日連絡先:096-248-6422(農業研究センター企画情報課)
優先する受講者(※)	農業者
定員	—
申込締切	令和8年8月4日(火)
発表者	農業研究センター農産園芸研究所 研究員 生産環境研究所 研究員 アグリシステム総合研究所 研究員
講座の狙い	熊本県農業研究センターの最新技術を紹介(作物・園芸関係)
講座の概要	農業研究センターでは、「くまもと農業の未来発展につながる新品種の開発・選定」、「生産性の向上を目指した革新的な生産技術の開発」、「環境にやさしい農業を推進する技術の開発」に取り組んでいる。 そこで、本講座では農業研究センターの作物関係及び園芸関係の最新の研究成果について学ぶ。 ※本講座は令和8年度(2026年度)農業研究センター農産園芸研究所、生産環境研究所及びアグリシステム総合研究所合同成果発表会をオンライン配信及び、会場参加で実施します。 〈発表成果 一部抜粋〉 【作物部門】 「高温登熟性に優れ多収な水稻「にじのきらめき」の特性」 【花き部門】 「県内で発生したFusarium属菌に対するトルコギキョウ品種の抵抗性評価」 【野菜部門】 「トマトキバガの誘殺消長と被害リスクおよびタバコカスミカメによる捕食」 「輸送期間の長期化に対応したイチゴ「ゆうべに」の鮮度保持対策」 他(詳細は別紙)
講座の時間配分	開会挨拶 午前10時00分～10時10分 成果発表 午前10時10分～午後4時40分(午後0時～午後1時:昼休憩) 11時～12時は水田試験ほ場の視察 ※成果毎の発表時間は別紙
受講上の注意	オンライン参加の場合はパソコン等にあらかじめWebexアプリのインストールをお願いします。講座に使用するミーティングIDは事前にお知らせします。また、質疑はできません。御質問は、くまもと農業アカデミーにメールでお送りください。 mail: noudaikensyuu@pref.kumamoto.lg.jp
受講の可否	登録されたメールアドレス宛に通知します。

令和 8 年度（2026年度）農業研究センター農産園芸研究所、生産環境研究所 及びアグリシステム総合研究所合同成果発表会

I 午前の部

分野	時 間	発表課題名	所属	発表者
	10:00 ～ 10:10	あいさつ	熊本県農業研究センター	所長 徳永 浩美
作物	10:10 ～ 10:30	高温登熟性に優れ多収な水稻極早生品種「にじのきらめき」の特性	農産園芸研究所 作物研究室	研究主任 武 嘉昭
	10:30 ～ 10:50	納豆用小粒大豆「すずおとめ 2 号」の特性	農産園芸研究所 作物研究室	研究員 丸山 明莉
	10:50 ～ 11:10	水田試験ほ場へ移動		
	11:10 ～ 12:00	水田試験ほ場視察	高温耐性のある水稻「にじのきらめき」栽培試験、水稻有望品種「みなもさやか」等の紹介【作物研究室】 水田からのメタンガス採取状況【土壌環境研究室】	

II 午後の部

分野	時 間	発表課題名	所属	発表者
花き	13:00 ～ 13:20	熊本県内で分離したFusarium属菌に対するトルコギキョウ品種の抵抗性評価	農産園芸研究所 花き研究室	研究主任 矢北 舞子
	13:20 ～ 13:40	湿地性カラー「熊本 F C O 3」の切り花は、「グリーンゴッデス」より日持ちが優れる	農産園芸研究所 花き研究室	研究員 迫田 裕太
野菜	13:40 ～ 14:00	イチゴ「ゆうべに」の収量を確保する生育調査項目	農産園芸研究所 野菜研究室	研究員 梅田 健吾
	14:00 ～ 14:20	抑制スイートコーン無加温栽培における端境期に出荷可能な栽培条件	農産園芸研究所 野菜研究室	研究員 松下 佳広
14:20 ～ 14:30 休憩				
野菜（土壌）	14:30 ～ 14:50	冬春トマト栽培で約1t/10aもみ殻くん炭を施用すると、減収なく炭素貯留効果が得られる	生産環境研究所 土壌環境研究室	研究参事 東 貴彦
野菜（病害虫）	14:50 ～ 15:10	トマトキバガの誘殺消長と被害リスクおよびタバコカスミカメによる捕食	生産環境研究所 病害虫研究室	研究参事 春山 靖成
	15:10 ～ 15:30	施設有機栽培トマトにおけるトマトすすかび病に対するUV-B LED照射による防除効果	生産環境研究所 病害虫研究室	研究参事 福永 悠介
15:30 ～ 15:40 休憩				
野菜（鮮度保持）	15:40 ～ 16:00	輸送期間の長期化に対応したイチゴ「ゆうべに」の鮮度保持対策	アグリシステム総合研究所 野菜栽培研究室	研究員 長田 萌里
	16:00 ～ 16:20	船舶による野菜類の混載輸出に利用できる品目別の貯蔵特性	アグリシステム総合研究所 野菜栽培研究室	研究員 長田 萌里
野菜（DX）	16:20 ～ 16:40	「WAGRI トマトの産地全体出荷量予測API」を用いた冬春トマト産地の出荷量予測技術	アグリシステム総合研究所 生産情報システム研究室	研究主任 池田 理奈

発表時間：20分（発表12分＋質疑応答8分）